

平成 24 年度 2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	24	ごみを減らす生活を送る	評価責任者 (基本施策主管課長)	人権生活環境部清掃事業課長 馬場 幸雄
生活課題	ごみを出さないようにするという意識を皆が持っている		生活課題に対する満足度 H27目標値	70.0 %

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系	基本目標	意欲
	政 策	環境への取り組みが進むまちづくり
① 市民意識調査結果		② 左記結果に対する現状分析・市民との協議結果 ごみを減らすことへの意識は高く必要度は認識されている。満足度については、やや下り傾向にある。指定ごみ袋の有料化と資源ごみの分別、特に容器包装プラスチックの収集は効果を表しているが、一層分別の啓発を要する。資源再利用回収奨励金交付事業は実施団体の意識が高い。 参考 満足度（満足意識） 31.2 % 必要度 85.9 %
③ 基本施策の現状と課題	指定ごみ袋の有料化は、可燃ごみの減量を図っている。容器包装プラスチックの分別も可燃ごみの減量につながっている。資源ごみの分別徹底により資源のリサイクルに努める。生ごみ処理容器購入補助金事業は、生ごみの減量を図っている。	
④ 基本施策の意図、今後の展望	資源循環型形成社会を推進するため資源化ごみの分別徹底により、資源リサイクルの推進を図る。資源再利用回収奨励金交付事業及び生ごみ処理容器購入費補助事業のあり方(制度)について、他自治体の状況を調査し一定の方向性を定める。	

⑤ 基本施策指標（総合計画数値目標）

基本施策指標名	単位	過年度実績		評価年度			目標値	指標の説明
		H22	H23	H24	H25	H27		
1 可燃ごみ搬入量	目標	t	20,952.0	20,742.0	20,534.0	20,328.0	20,328.0	可燃ごみ年間搬入量
	実績	t	19,788.0	19,700.5				
	達成率	%	94.4	95.0				
2 生ごみ処理容器交付件数	目標	件	82.0	82.0	45.0	51.0	51.0	交付件数
	実績	件	75.0	39.0				
	達成率	%	91.5	47.6				
3 資源再利用回収奨励金交付件数	目標	件	170.0	203.0	200.0	200.0	200.0	交付件数
	実績	件	200.0	142.0				
	達成率	%	117.6	70.0				
	目標							
	実績							
	達成率	%						
	目標							
	実績							
	達成率	%						
	目標							
	実績							
	達成率	%						

⑥ 基本施策構成事務事業の評価

基本施策を構成する事務事業名	担当課	I D	事業名	改善余地の有無	事業費（人件費込、単位：千円）			基本施策貢献順位
					H23 決算額	H24 予算額	H25 所要額	
1 人権生活環境部清掃事業課		502	一般廃棄物減量等推進事業	有	33,443	49,605	49,605	1
2 人権生活環境部清掃事業課		2437	ごみ処理施設整備事業	無	0	0	23,785	1
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
（ 以 下 続 紙 ）								
事業費合計					33,443	49,605	73,390	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業（総合計画実施計画の期間内に実施を予定する事業）

事業名	事業主体	事業内容等

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	可燃ごみの年間搬入量は前年とほぼ同量であるため、増加しないようにごみの分別の啓発を続ける。
2 事業構成の適当性（手段として最適か？）	資源再利用回収奨励金及び生ごみ処理容器購入費補助金交付事業について、他の自治体の状況を調査し、関係機関と協議のうえ一定の方向を定める。
3 役割分担の妥当性	住民と連携してごみ分別の徹底を進める。
4 総合評価（今後の方向性、事業の見直しについて等）	資源再利用回収奨励金及び生ごみ処理容器購入費補助金交付事業のあり方(制度)について、他の自治体の状況を調査し、関係機関と協議のうえ平成25年度までに一定の方向を定める。容器包装プラスチックを始め資源ごみの分別徹底を啓発し、資源のリサイクルを推進する。